

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	教育部文化財課	■担当係	文化財係
■評価事業名称	文化財保護審議会		
■事業開始年度	平成3年度		
■評価事業コード	400600 - 038	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	04 芸術文化の振興・国際交流の推進	
	■施策	02 ふるさとの文化財と伝統文化の継承	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称	北上市文化財保護審議会条例		
■関連計画の名称	北上市総合計画実施計画、北上市教育振興基本計画		
■事業の目的と概要	市内に所在している文化財のうち重要な物件を指定し保護保存する。文化財保護に関する調査・審議。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	文化財保護審議会	市民、委員、市内所在文化財	会議開催回数2回	○会議開催回数1回。出席委員5人(委員7名)。報告事項7件。協議件数1件。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	59	57	59	42	
人件費	1,043	901	1,526	2,382	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,102	958	1,585	2,424	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	諮問、協議案件件数	協議2件、報告4件	協議2件、報告4件	諮問1件、報告4件	協議1件、報告7件	会議において諮問・協議等を行った件数
02	会議1回当たりコスト	1,102千円	958千円			フルコスト÷会議数
03	付議案件1件当たりコスト					

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

04	会議開催回数	1回	1回	1回	1回	会議の開催回数
----	--------	----	----	----	----	---------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

市内所在の文化財について、重要な物件を文化財指定に向けて調査・審議出来ている。

問題点・課題等

各分野の文化財に関し、知識経験を有する10人以上をもって組織するが、委員の世代交代が課題である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

市内所在の重要な物件の文化財指定を進め、保護保存を図るために、専門的な知識を備えた委員による調査・審議の場として、本審議会の設置は不可欠である。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了